

経験者が語る！

ものづくり現場に埋もれている発明をいかにして発掘するか？

ものづくり現場の発明発掘

日常の開発業務で納期に追われ、発明を考える余裕などとてもないという方はおられませんか？
「ものづくり現場」での改善やアイデアから大発明につながる可能性があります。

気づきにくい発明のネタを掘り起こし、少ない手間で特許出願に結びつけるのか、製造現場の技術者であった弁護士・弁理士と経験豊富な知的財産のスペシャリストが、具体的な発明の発掘方法と少ない手間で弁理士にアイデアを伝える方法について分かりやすく解説します。

【講師】 弁護士・弁理士 古莊 宏（弁護士法人バリュープラス）

八巻 隆博（日本パテントデータサービス㈱ 知財研修部 部長、元住友金属工業㈱ 知的財産部長）

【日時】 2025年3月4日（火） 13：30-16：30（13:00 開場）

【場所】 東京会場（対面のみ）

アクセス：<https://www.jpds.co.jp/company/access.html>

【参加費】 16,000円／名（税込17,600円）

【定員】 24名（先着順受付）

【対象】 開発部門、製造部門等の技術者

【プログラム】

1. 製造現場に転がっている発明の原石
 - ・不良品発生は発明発掘のチャンス
 - ・設備トラブルは発明発掘のチャンス
 - ・国の規制/政策などから生まれる発明
2. 発明の展開
 - ・視点を変える発想法
 - ・カテゴリーを越える発明の展開
(製造方法 ⇄ 物 ⇄ 用途)
3. 知財担当者/弁理士との協働
 - ・相談メモと実物/現場の活用(弁理士面談)
 - ・知財担当者の役割
4. 質疑応答

【お申込み】

弊社ホームページよりお申し込みください。

URL：<https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

講師間のやりとりに加えて、参加者とのディスカッションも予定しています。奮ってご参加ください。